

## 議事録

委員会名	千代田区消防団運営委員会
日時	令和4年7月28日(木)
場所	千代田区九段南一丁目2番1号 千代田区役所8階第3・4委員会室
諮問事項	大規模地震発生時における特別区消防団の消火能力を向上させる方策はいかにあるべきか
出席者	樋口 高顕(千代田区長)、坂井 重正(神田防火防災協会会長)、小野 なりこ(区議会議員)、岩田かずひと(区議会議員)、山田 丈夫(区議会議員)、齊藤 悦弘(丸の内消防署長)、和田 浩知(麴町消防署長)、川原 省太(神田消防署長)、千葉 太(丸の内消防団長)、平位 誠一(麴町消防団長)、小林 泰夫(神田消防団長)
欠席者	杉山 博孝(丸の内防火防災協会会長)、青山 光憲(麴町防火防災協会会長)
傍聴者	0人
配布資料	1 消防団運営委員会委員名簿 2 各消防団の人員及び可搬ポンプ積載車配置状況 3 諮問事項 4 課題と検討事項 5 千代田区消防団運営委員会スケジュール

## 議事録

(区事務局)

定刻より少々早いですけれども、皆さんお揃いになりましたので、ただいまから令和4年度第1回千代田区消防団運営委員会を開催させていただきます。本日はお暑期中、また、大変お忙しい中、本委員会にご出席をいただき本当にありがとうございます。私は本委員会事務局の千代田区行政管理担当部長をしております中田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

本委員会は議事録作成のため録音をさせていただきます。また、作成しました議事録は原則公開とさせていただきます、後日、区のホームページに概要版を掲載いたしますので予めご了承くださいと思います。

続いて、開会に先立ち、当消防団運営委員会の委員として活動されていましたが、うがい友義区議が去る6月5日急逝されました。謹んで哀悼の意を表すると共に、故人のご冥福をお祈りし、皆様と共に黙祷を捧げたいと思います。恐れ入りますが、ご起立をお願いいたします。では、一同、黙祷。

[黙祷]

ありがとうございました。ご着席をお願いいたします。

それでは、開会にあたり、当消防団運営委員会委員長の千代田区長、樋口よりご挨拶を申し上げます。区長、お願いいたします。

～委員長挨拶～

(区事務局)

次に、各委員の紹介でございます。お手元に配付をいたしました資料1の名簿をご覧くださいまして、紹介に代えさせていただきたいと思っております。なお、消防団運営委員会の事務局は各消防団の警防課及び区災害対策危機管理課が務めます。また、消防署の総括は丸の内消防署が担当いたします。よろしくをお願いいたします。

次に、本日の資料を確認いたします。次第と1から5までの資料がございます。恐れ入りますが、お手元の資料をご覧ください。資料に不足はないでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは続いて、本日の出席状況をお知らせいたします。本委員会の定数は13名でございます。現在の出席者は11名、欠席は2名でございます。従いまして、特別区の消防団の設置等に関する東京都条例第9条の規定に基づき、委員の半数以上の出席がございますので、本日の会議は成立をさせていただきます。なお、岩田委員におかれましては、14時30分以降にご退席ということでお話を伺っております。皆様よろしくをお願いいたします。

続いて、委員の皆様におかれましては、ご発言をいただく場合はお手元のマイクスイッチを押していただき、赤い表示が点きましたらご発言をされるようお願いを申し上げます。

それでは、樋口委員長に議事の進行をお願いいたします。

(委員長)

ただいまより議事に入ります。初めに、「令和3年度特別区消防団運営委員会への諮問概要について」、事務局から説明をお願いします。

(消防署事務局)

丸の内消防署警防課長の依田と申します。それでは着座にて失礼をいたします。まず、お手元の資料2でございますが、こちらの消防団員の人数、可搬ポンプの積載配置状況並びに分団施設の状況にありましては、ご覧いただきまして、内容の説明については割愛させていただきます。

続いて、資料3でございます。お手元の資料3の諮問概要について説明をさせていただきます。今回の東京都知事からの諮問事項につきましては、先ほど委員長から述べら

れました「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」でございます。審議の期間は令和3年10月から令和5年3月までとなっております。答申期日は令和5年3月31日でございます。概要についてですが、特別区消防団は災害発生時においては消火を中心とした活動、平時においても火災予防の啓発や住民への各種訓練指導等の役割を担うなど、地域住民から頼られる存在でございます。今後、首都直下地震、南海トラフ地震等の地震時においては、迅速な出場による初期消火活動、木造、防火造建物の密集地域での消火活動、消防隊との連携による延焼阻止活動、長時間に及ぶ消火活動など、普段の活動以上に多岐にわたることから、東京消防庁との連携を考慮した組織的な対応が必要となります。このことから、消防団の実戦的な対応力のさらなる向上が、震災時における、より効果的な活動に繋がるものと考えられることから、特別区消防団の消火活動能力の向上方策について諮問されたものでございます。お手元の資料4になります。以上でございます。

(委員長)

ありがとうございました。ただいまの説明についてご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。 それでは、以上で「令和3年度特別区消防団運営委員会の諮問概要について」を終えます。

(委員長)

続いて、答申案の審議に入ります。まず、諮問事項に対する検討内容について、事務局に説明を求めます。

(消防署事務局)

続いて、資料4に移らせていただきます。前回におきましては書面開催で実施させていただき、各委員から多数の貴重なご意見をいただきました。その中で、修正並びに追加したものについて説明をさせていただきます。なお、課題1並びに課題2については、各委員からご意見等がございませんでしたので、答申案の通りとさせていただきます。

続いて、課題3に移ります。課題3-1、若い世代の団員確保と組織の活性化のための方策について、千葉委員から、「千代田区内にある事業所の上層部は防災意識が高く、消防団に理解があるため、事業所上層部に入団促進を働きかけると効果的ではないか」とのご意見をいただきました。そのため、課題3-1の(5)として、「防災意識が高く、消防団に理解のある事業所の上層部に入団促進を働きかける」という内容を追記させていただきました。

同じく課題3、入団促進について、小野委員から、「女性が参画しやすい消防団の在り方について検討や意見収集をすべきではないか」というご意見をいただきました。そのため、課題3-1の(1)ウ、前回案では「地元飲食店やスーパーマーケットなどにリー

フレットを配置してもらい主婦層の入団促進を図る」でしたが、「地元飲食店やスーパーマーケット等」の後に、「女性の入団促進を図るため、各消防団の特性に応じた活動時間や活動内容を具体的に記載したリーフレットを配置する」に答申案を訂正させていただきました。

他の課題3については答申案の通りとさせていただきます。

続いて、課題4でございます。配置資機材軽量化、効果的な装備、資機材の整備について1-(1)のア、電動アシスト付きホース延長台車、(4)のア、電動搬送台車、イ、電動資機材搬送車と答申案に記載しておりますが、岩田委員から、「電動アシストは機能しなければ動かすのが容易ではなく、ただの重い台車になってしまう」とのご意見をいただきました。地震が発生してライフラインが止まってしまった場合、ご意見の通り、充電機能が失われれば動かすことが困難になります。震災では、先の見えない災害に対応する時、リスクはできるだけ避けるべきであると考え、答申案より削除いたしました。

以上が千代田区消防団運営委員会の書面開催の答申案に対する各委員からの意見に対する追加及び修正した部分の説明となります。以上で説明を終わらせていただきます。

(委員長)

ただいまの説明についてご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。はい、坂井委員。

(坂井委員)

見ますと、小野委員の女性の参画を促進する案はすごくいいと思いますけれども、6月に神田消防団のポンプ操法の訓練がございまして、第2分団の隊が女性ばかり5人でポンプ操法をされたんです。その中の一人の方がその場で具合が悪くなって……。ですから、電動アシスト付きホース延長台車はすごく必要ではないかと思いました。ホースは結構重たいものですよ。それを担いで、一橋中学校の校庭を走ってホースを延長していたんですけれども、あれでは女性にはちょっと酷かなと思いますので、電動アシスト付きホース延長台車が赤線で引いてありますけれども、これは導入されたほうが女性の消防団員のためには良いのではないかと思います。

(消防署事務局)

事務局からただいまの意見について、今後、私どものほうもまた検討をさせていただくということでお願いしたいと思います。以上になります。

(委員長)

ありがとうございます。他にご意見、ご質問はありますか？ よろしければ、本日のご意見を参考に、答申内容の検討を進めていきたいと思っております。この後でも結構

ですので、また、ご意見などがございましたら事務局へお寄せください。それでは以上で答申案の審議を終えます。

(委員長)

次に、今後の審議日程について事務局に説明を求めます。

(消防署事務局)

今後の予定でございます。第3回につきましては令和5年2月中、会場並びに時間は未定でございますが、実施の内容については「千代田区消防団運営委員会答申案の策定」という内容でございます。そのような今後のスケジュールでございます。以上です。

(委員長)

ありがとうございます。次回の開催については改めてご連絡を申し上げるということです。以上で本日の議題はすべて終了いたしました。

(委員長)

最後になりますが、その他で何かご意見、ご質問などはございますか。よろしいでしょうか。それでは、次回の委員会では答申案の策定を行って参りたいと存じます。よろしく願いいたします。

本日はお忙しい中、当委員会のためお時間を賜り誠にありがとうございました。以上で令和4年度第1回消防団運営委員会を閉会いたします。ありがとうございました。